

第5学年3組 学級活動（話し合い）指導案

場 所 5 3教室
指導者 吉川 真紀

1 題 材 最高学年をめざして ～はり絵を成功させよう～

2 題材について

(1) 題材設定の理由

本学級は、「あたたかく、一人一人が輝けるクラス」づくりを目指して、4月にスタートした。1学期は、学級生活に関する議題を中心に話し合い活動を積み重ね実践してきた。2学期に入り、運動会での係活動への参加や石岡市内音楽会に学校の代表としての参加の経験を通して、学校全体を意識し、みんなで作り上げる活動のよさを感じることができてきた。2学期も後半になり、これから最高学年を意識した学校生活向上を目指していく上で、今回の異年齢集団活動の「はり絵」は、5年生が主体になり、チーム（グループ）全体をリードしていく絶好の機会である。

高学年としての意識が高まりつつある今、異年齢集団活動の中心的存在として、自分たちができるることを具体的に考え、行動してみることは大きな自信につながるものと考える。そして、その経験の積み重ねが、よりよい学校づくりにつながると考え、本題材を設定した。また、この題材は道徳の内容項目4 (3)「身近な集団に進んで参加し、自分の役割を自覚し、協力して主体的に責任を果たす。」の実践を効果的に行えるものである。

(2) 児童の実態 (男17人 女14人 計31人)

〈アンケート調査の結果〉 平成21年9月2日実施

- | | | |
|---|--------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ① | どういう最高学年になりたいですか。（自由記述） | ・尊敬してもらえる（12人）・やさしい（7人）・頑張れる（3人）・自分から行動できる（3人）
・かっこいい（2人）・責任感のある（1人）・努力できる（1人）・他学年のめんどうをみることができる（1人）・頼ってもらえる（1人） |
| ② | どんな学年並みにしていきたいですか。（自由記述） | ・思いやりと優しさにあふれた学校（7人）・きれいですごいなと思われる学校（5人）・何事にもがんばれる学校（4人）・尊敬される高学年とまねできる下級生がいる学校（3人）・協力できる学校（3人）・一人一人が輝いている学校（3人）・明るく元気な学校（2人）・笑顔にあふれた学校（1人）・何にでも心を1つにすることができる学校（1人）・あたたかい学校（1人）・1~6年生全員が仲よしの学校（1人） |

(3) 研究テーマにせまるための手立て

学年当初の話し合い活動では、数人の児童が発表して、話をよく聞かず、すぐに多数決に流れようとしていた。これまで、話し合い活動だけでなく日常生活の場でも、友達の意見をよく聞いて、考えることを意識するように支援してきた。その結果、勇気をもって、自分の考えを発表したり、友達の意見を認めたりすることができたりするようになってきている。しかし、まだ消極的になってしまう児童がいる。個を生かすということから、消極的になってしまう児童には、事前に記入した意見カードをもとに解決方法を考えることで、積極的に参加できるようにしていきたい。また、一人一人下学年に対する対応の差や全体を見て行動することに差があることから、その子に応じてできることを周囲がアドバイスしたり、認めたりすることで集団の活性化を図っていきたい。

3 指導目標

- | | |
|-----------------------------------------------|------------|
| ○ 学校全体をしっかりと意識し、自主的に話し合おうとしている。 | (関心・意欲・態度) |
| ○ 赤チームの全員ががんばって取り組めるように、自分たちができる考えを考えることができる。 | (思考・判断) |
| ○ めあてにそった意見を述べるとともに、友達の意見をしっかりと聞くことができる。 | (技能・表現) |
| ○ 話合いの流れや決まったことや自分の役割を理解することができる。 | (知識・理解) |

4 活動計画及び評価規準

活動計画

月 日	活動の場	活動の主体	活動内容
9月 2日	朝の活動	学級全児童	アンケートの実施
10月 30日	5校時	異年齢集団	第1回はり絵活動
10月 30日	学級活動	学級全児童	第1回目の活動のふり返り・まとめ
11月 2日～ 11月 5日	休み時間等	計画委員会	活動のまとめの集計・話し合いの進め方についての打ち合わせ
11月 5日	学級活動	学級全児童	第1回の活動のビデオを観て、活動を振り返る。
11月 6日（本時）	学級活動	学級全児童	話し合い「今日のはり絵活動で、自分たちができる考えよう！」
11月 6日	6校時	異年齢集団	第2回はり絵活動 実践

評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
最高学年をめざし、学校全体を意識して、自主的に話し合うことができる。	赤チーム全体の絆が深まるために、クラスの全員が取り組むことを考えることができる。	話合いのめあてや流れにそって、意見を発表したり、友達の意見を思いやりながら聞いたりすることで、よりよい考えを練りあげようとすることができる。	話合いで決まった内容や自分の役割について、理解することができる。

5 本時の活動

(1) ねらい

- チームのリーダーとして、やるべきを考え、話し合うことができる。

(2) 資料・準備

- ・役割プレート 　・黒板用掲示物 　・写真 　・ふり返りカード 　・評価カード

(3) 展開

議題		今日のはり絵活動で、自分たちができるを考えよう！					
めあて	チームのリーダーとして、どんなことをしたらよいかを考えよう。						
配時	児童の活動・内容	形態	教師の支援・留意点				
7	1 始めの言葉 2 学級の歌 3 議長団の紹介 4 議題の発表 5 提案理由の発表 6 めあての確認 7 話合い <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分達ができることを話し合う。 (予想される児童の反応) <ul style="list-style-type: none"> ・事前の必要な物の確認 ・言葉かけ 「よくがんばっているね。」 「いっしょにやろうよ。」 「遊ばないで、〇〇しようよ。」 「こうするといいよ。」 ・役割分担が進んでいるか確認する。 ・計画通り進んでいるか確認する。 ・6年生や先生にアドバイスをもらう。 8 決まったことの発表 9 ふり返り 10 先生の話 11 終わりの言葉	全体	<ul style="list-style-type: none"> ○ 机をUの字形にしたり、座席を配慮したりすることで、話合いがしやすいような場の設定をする。 ○ あたたかい雰囲気で、話合いがスムーズに進行できるように、計画委員会での打ち合わせを密にしておく。 ○ 前時観たビデオを通して、めあての浸透を図り、話合い活動ができるようにする。(写真の掲示) ○ 6年生と一緒にリーダーとして活動するのは、今日の活動がラストであることを確認する。 ○ 話合いが滞った際の進め方を、司会者と事前に打ち合わせをしておくことで、スムーズに話合いが進むようにする。 ○ 1回目の活動を生かし、どのような言動をすることが、チームのまとまりにつながるのかを十分に考えさせ、リーダー性を高めができるようにしていきたい。 ○ 友達の意見をよく聞き、さらに自分の意見と合わせて考えを深めて意見を述べることができた児童を賞賛する。 ○ 考えていても挙手ができないA子とB子に対しては、支援したり、司会者と協力して、意図的に指名したりして、発表できるようにする。 ○ よい考えをもつことができても行動が伴わないC男に対しては、責任感がもてるよう本時・事後も見守っていく。 ○ 本時をふり返り、自己評価をして、ふり返りカードに記入する。 <p>【評】思考・判断 (観察・ふり返りカード)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 50%;">十分満足 (A)</td> <td style="width: 50%;">おおむね満足 (B)</td> </tr> <tr> <td>学級のみんなと支え合いながらチームのリーダーとして、やるべきことを考えることができる。</td> <td>チームリーダーとしてやるべきことを考えることができる。</td> </tr> </table>	十分満足 (A)	おおむね満足 (B)	学級のみんなと支え合いながらチームのリーダーとして、やるべきことを考えることができる。	チームリーダーとしてやるべきことを考えることができる。
十分満足 (A)	おおむね満足 (B)						
学級のみんなと支え合いながらチームのリーダーとして、やるべきことを考えることができる。	チームリーダーとしてやるべきことを考えることができる。						
3 3		全体	<ul style="list-style-type: none"> ○ 話合いの中で、良かった点を具体的に取り上げ、これから話合い・生活への意欲付けをする。 ○ 決まったことが実践できるように励まし、本日の異年齢集団活動に前向きに取り組めるようにする。 				
5	(役割) 司会： 黒板書記：		副司会： ノート書記：				

6 今後の発展と評価

- ・ チーム（グループ）全体のことを考えて、活動に取り組もうとする意欲を賞賛する。
- ・ これからの活動だけでなく、日常生活の場においても、学校全体のリーダーとして行動できるように支援する。

第13回 輝きの会活動計画

5年3組

11月6日(金) 5時間目

議題(はり絵を成功させよう)	提案者()
提案理由	6年生との最後たてわり班活動になります。 1回目の活動リーダーとしてやってみた所もありますが、とまとったところ多かったので、今日のたてわり班活動を成功させたいと思い提案しました。	
話し合いのめあて	リーダーとして自分達ができる事を考えよう。	
話し合いの柱	みんなの意見(予想)	気をつけること
1はじめのことは 2クラスの歌 3役割の紹介 4議題の発表 5提案理由の発表 6めあての確認 7話し合い 8決まったことの発表 9ふり返り 10先生の話 11おわりのことは	<p>必要な物を確認する 折り紙やのりなど…</p> <p>◎楽しく活動 教えてあげながら、会話の内容 ·あきないよがて工夫する</p> <p>◎言葉かけ ほめ方 注意のし方 ·やさしく ·名前でよぶ ·感謝の気持ちをもって思う</p> <p>◎全体を見て指示する 分担や説明、後片づけなど</p> <p>②決め方 今日は1つに決めるのはなくて 話し合いを進め、考えを深め 決定する</p>	<p>・ここは事前のことだから、時間をかけずに速める ・意見が出にくい時は、第1回目のときは、どうだったか思い出して考えてもらう ③の点について時間もかけることであたたかい活動になるようにする ・言葉かけのときは具体的な言葉を○○を使って書く、分かりやすく ・楽しく活動とはそういうふんい氣にするにはどうしたらいいか考えてもらう。</p>
役割	司会()	副司会()
	黒板書記()	ノート書記()